



KAKEHASHI Project  
-The Bridge for Tomorrow-

**U.S.-Japan  
Youth Exchange**

# 旅のしおり

**KAKEHASHI PROJECT  
BASEBALL DREAM**

KAKEHASHI Project 野球少年少女国際交流  
～日程提案型公募派遣事業（中高生）～

実施体制 政府：外務省 拠出先団体：日米教育委員会  
実施団体：独立行政法人 国際交流基金 協力団体：米国ローラシアン協会  
企画・代表：谷沢健一（元中日ドラゴンズ、野球解説者）

日程：平成 26 年 7 月 21 日（月）～8 月 3 日（土）

# 目次



● KAKEHASHI project の概要 .....	1
● 企画代表者 谷沢健一プロフィール .....	2
● 谷沢健一から子供達へメッセージ .....	3
● 日程表 .....	4・5
● 訪問先・人物紹介 .....	6～11
● スタッフの紹介 .....	12・13
● 旅のメモ帳 .....	13～22

子供達へ  
応援コメントが  
送れます!!

子供達の様子は隨時専用ブログより配信します。

※専用ブログへは添付の QR コードも利用できます。

<http://kakehashi.yazawa41.com>



# KAKEHASHI Project の概要



## KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-

北米地域との青少年交流（米国事業）青少年短期派遣事業（中・高校生）日程提案型

＜目的＞標記事業は、日本経済の再生に向けて、青少年交流を通じて、我が国の強みや魅力等の日本ブランドや日本的な「価値」に関する理解と関心を深めるために、日本政府（外務省）により進められている事業です。本事業は、原則として、全国から選抜された中・高校生が米国において日本の魅力等についての情報を発信し、国際的な視野を持った次世代の人材として成長するための経験を培うことを目的としています。

＜派遣期間＞ 派遣期間：14日間（往復の旅行期間含む）

＜派遣時期＞ 平成26年7月～8月に本邦出発・帰着。

＜派遣対象国＞ 米国

＜募集単位＞ 1グループ25名（引率者含む）

＜プログラム内容・標準日程案＞申請団体の提案に基づき、原則9泊10日の滞在中、オリエンテーション、米国理解講義、関連機関表敬、歴史・観光・自然の名所訪問、学生交流、ホームステイ等の地域交流、日本および地域の強み・魅力についてプレゼンテーション等を行います。

＜募集要項・応募条件＞本事業の趣旨を理解し、日程提案が可能な団体を対象とします。

なお、営利目的の団体及び中学・高校は申請できません。原則として、以下条件に適う  
中・高校生23名と引率者2名の25名1組での派遣となります。

- 1) 中学生または高校生であること
- 2) 引率者は英語である程度コミュニケーションが取れること。
- 3) 所属校の許可を得て参加できること。
- 4) 心身ともに健康であること。
- 5) 日本国籍を有していること。あるいは在留資格「永住者」を有するか特別永住者証明書を有し日本に居住していること。
- 6) 日本の強みや地域の魅力等について英語で発信できること。
- 7) 規律ある団体行動ができること。
- 8) プログラムの全行程に参加できること。
- 9) プログラムに関するアンケートや感想文を提出すること。

## 企画代表者プロフィール



# KAKEHASHI project 野球少年少女国際交流 企画代表者プロフィール



野球評論家 **谷沢 健一** (やざわ けんいち)

出身地：千葉県柏市

生年月日：1947年9月22日（66歳）

身長体重：179cm 80kg

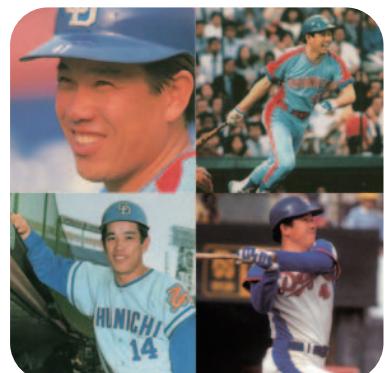
投打：左投左打

守備位置：一塁手、左翼手

プロ入り：1969年 ドラフト1位

初出場：1970年4月12日

経歴：習志野市立習志野高等学校 → 早稲田大学 →  
中日ドラゴンズ（1970 - 1986）



- 1970年 ドラフト1位で中日ドラゴンズ入団 新人王受賞  
1974年 巨人軍の10連覇を阻止して20年ぶりのリーグ優勝  
1976年 初の首位打者  
1978～1979年 持病のアキレス腱の炎症にて戦列離脱  
1980年 カムバック 2度目の首位打者  
1982年 リーグ優勝に4番打者として貢献  
1985年 2000本安打達成  
1986年 体力の衰えから39歳で引退  
1987～1993年 フジテレビ、ニッポン放送、サンケイスポーツ等、野球評論家活動  
1994～1995年 西武ライオンズ打撃コーチ  
1996年 再び、フジテレビ、東海ラジオ、東京中日スポーツ等、野球評論家活動  
1998～1999年 母校、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科にて修士号MBA取得  
2002年 早稲田大学客員教授として野球実技とスポーツ論担当（2012年より講師）  
2005年 NPO法人「谷沢野球コミュニティ千葉」設立。理事長に就任  
千葉県柏市を本拠地として社会人野球のクラブチーム（YBC フェニーズ）結成  
2009年 NPO法人「日本ティーボール協会」副会長就任  
2010年 東京大学運動会硬式野球部臨時コーチ就任（現在に至る）  
2013年 野球評論家及び野球界発展の為活動中

## 谷沢健一から子供たちへのメッセージ

### タイトル「KAKEHASHI PROJECT BASEBALL DREAM」

この度の少年少女野球交流についての趣旨を掲載します。冒頭に今回初めてブルックリン・サンディエゴ、ロスアンゼルスの3都市で、野球及び文化交流を展開するにあたり皆々様に御挨拶を申し上げます。子供たちに大きな夢を描いてもらう為に、嘗てない程のDREAMに挑戦してもらう為に「KAKEHASHI PROJECT BASEBALL DREAM」と呼ばせて頂きます。

米国野球の草創期の歴史を遡ると、ブルックリン・エベッツフィールドにはドジャースが、マンハッタンのポログラウンドにはニューヨーク・ジャイアンツが、ブロンクスのヤンキー・スタジアムを本拠地とするニューヨーク・ヤンkeesが、この3球団が犇めき（ひしめき）合い、そんな時代の蓄積が1950年代に黒人初の大リーガー、ジャーキー・ロビンソンが産み出された。背番号42番はMLBの永久欠番でもある。

まさに「温故知新」（古きをたずねて新しきを知る）。岩手、宮城、福島の総勢約70名の中学生は、ニューヨーク・メッツ傘下のブルックリン・サイクロonzの選手や地元の子供たちが迎えてくれます。そして、様々な企画演出を担当するのが鈴木陽平氏です。皆さん、サプライズも期待しましょう。日本の良さもアピールしましょう。

二番目の訪問地はカリフォルニア州・サンディエゴ市です。サンディエゴはスポーツ、文化観光、教育に秀でたエリアです。恵まれた環境で子供たちは大きく伸び伸びと成長して行きます。ホストファミリーも迎えてくれます。此処での交流もChase山内氏がスタッフを総動員してアテンドしてくれています。日系企業訪問やオーシャンサイド市、NATIONAL UNIV.を訪問・見学し自分たちで考えてきたプレゼンテーションで応えるよう頑張ってください。サンディエゴのMLB球団は、サンディエゴ・パドレスです。本拠地のPETCO PARKでの観戦も楽しみですね。

最後の訪問地はバスでロサンゼルスまで移動します。まだまだ元気ですか。翌日（30日）は朝からアーバン・ユース・アカデミーにて地元の子供たちと交流試合が待っています。その合間にpresentationもこなす必要があります。南カルフォルニアの子供たちやUYAの先生方へ、皆さんの出身地の粘り強い人間性や世界遺産や風土や地域祭り行事など発表しましょう。この日は忙しいですよ。ロス担当は友永順平さんです。友永さんの尽力でドジャーススタジアムに招かれ偶然にもジャパンナイトのイベントも組まれている由。ドジャースは、1996年に入団した野茂英雄投手がトルネード投法でメジャーの各打者をきりきり舞いさせました。

行程の最後（31日）は、日米の野球の架け橋を作ったアイク生原氏（別項に紹介）の墓参を全員で訪ねます。引き続き、USC（南カリフォルニア大学）キャンパスにて、ジョージ・ルーカスやスピルバーグが名を連ねる映画学部の施設とデードー球場、体育会各部の歴史を刻む記念会館など予定されています。なお、日系老人ホームでのプレゼンも約1時間、選ばれたグループは、日本人として海を渡ったルーツを敬い、皆さんに感銘を抱かれるようお願いします。

まとめとして、私の願いはこの体験を通して、「New Rebirth=新しく生まれ変わる」の精神で、子供たちには、未来に向かって羽ばたくきっかけとなって欲しい。それぞれがどう感じても良いが一つだけ約束を。野球だけでなく広い視野に立ち世の中の有為な人材として成長出来ることを願うものである。

谷沢 健一

# KAKEHASHI Project 日程表

<b>第 1 日目 7/21(月)</b>	地元出発→東京到着 宿泊ホテルへ 滞在先：マロウドイン赤坂（東京都港区赤坂 6-15-17）
<b>第 2 日目 7/22(火)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出発前オリエンテーション（国際交流基金 2F 多目的ホールさくら）</li> <li>・内容</li> <li>・講義（日米関係、日本の魅力、米国事情）</li> <li>・プレゼンテーション練習</li> <li>・旅程、旅行の注意点（班分け）</li> </ul> 滞在先：成田エアポートレストハウス（千葉県成田市成田空港国際空港内）
<b>第 3 日目 7/23(水)</b>	日本発→ニューヨーク着→ブルックリンへ移動→ ロングアイランド・ブルックリン校の大学寮施設へ入寮（4泊5日） 【終日移動】 滞在先：ロングアイランド・ブルックリン校 大学寮
<b>第 4 日目 7/24(木)</b>	午前①オリエンテーション並びに打ち合わせ 午後②記者会見並びにレセプション実施 滞在先：ロングアイランド・ブルックリン校 大学寮
<b>第 5 日目 7/25(金)</b>	午前①プレゼンテーション公開練習 昼 ②ロングアイランド大ブルックリン校にて、現地学生とのランチを兼ねた 交流会とパーティー 夜 ③ヤンキーススタジアムにて、NY ヤンキース公式戦観戦（NY×トロント） 滞在先：ロングアイランド・ブルックリン校 大学寮
<b>第 6 日目 7/26(土)</b>	午前①サイクロンズ球場にてブルックリンの少年野球チームと交流試合 ②試合後に野球教室（元 MLB 投手と） 午後③コニー・アイランド地区にて少年野球チームと交流親睦会 17 時④サイクロンズ公式戦（試合前セレモニー・ジャパンナイト） 滞在先：ロングアイランド・ブルックリン校 大学寮
<b>第 7 日目 7/27(日)</b>	終日・ニューヨーク発→サンディエゴ着 ○○ホテル先へ移動し注意事項の伝達 →ホストファミリーへ移動 滞在先：参加者（ホームステイ）引率者（ホテル滞在）

<b>第8日目</b> <b>7/28(月)</b>	午前①日本企業訪問（京セラ米国法人） 午後②National University 訪問及びプレゼンテーション 夕方③ホームステイ先へ 滞在先：参加者（ホームステイ）引率者（ホテル滞在） 
<b>第9日目</b> <b>7/29(火)</b>	午前①Oceanside 市長訪問、市庁舎見学 午後②PETCO PARK 見学 ③MLB 試合観戦（パドレス × カージナルス） 試合途中・サンディエゴ→ロサンゼルスへバス移動（ホテル宿泊） 滞在先：Hacienda Hotel & Conference Center (522 N Sepulveda Blvd., El Segundo, CA) 
<b>第10日目</b> <b>7/30(水)</b>	午前①アーバン・ユースアカデミーにて地元少年チームとの 交流試合 3 試合及びプレゼンテーション 午後②ドジャース対アトランタ・ブレーブス観戦  
<b>第11日目</b> <b>7/31(木)</b>	午前①アイク生原氏墓参 ②USC 大学見学 午後③日系老人ホーム訪問及びプレゼンテーション ④ロス観光 ⑤ホテルへ戻って夕食・打ち上げ 
<b>第12日目</b> <b>8/1(金)</b>	アメリカ発
<b>第13日目</b> <b>8/2(土)</b>	日本着（午後） 到着後都内ホテルへ 滞在先：幾山会館（東京都文京区本郷 4-37-20）
<b>第14日目</b> <b>8/3(日)</b>	ホテルより貸し切りバスに東京駅へ→新幹線で各団体帰路へ

子供達へ  
応援コメントが  
送れます!!

子供達の様子は隨時専用ブログより配信します。

※専用ブログへは添付の QR コードも利用できます。

<http://kakehashi.yazawa41.com>



## 訪問先・人物紹介

### 1、アメリカ合衆国 United States of America

北アメリカ大陸および北太平洋に位置する連邦共和国である。

大統領 バラク・オバマ

首都ワシントンD C、最大の都市ニューヨーク

総人口約3億1千700万人（世界3位）



### 2、ニューヨーク州 (英: state of New York)

アメリカ合衆国大西洋岸中部にあり、本土アメリカ合衆国では北東部地域に位置する州。人口では全米第3位、面積では第27位の州である。南州境はニュージャージー州とペンシルベニア州、東州境はコネチカット州、マサチューセッツ州およびバーモント州に接する。ロングアイランドの東ではロードアイランド州と海上の州境がある。西はカナダのオンタリオ州と、北は同じくケベック州との国境になっている。東南端に、アメリカ合衆国で人口最大の都市であるニューヨーク市（人口800万人）がある。同市は州内では面積最大の都市であり、歴史的には移民の入り口として知られた。現在、アメリカ合衆国のみならず、世界の経済、文化および交通の一つの中心と見られている。ニューヨークという名前は、17世紀イングランドのヨーク公、後のジェームズ2世に因んで名付けられた。



### 3、ブルックリン区 (Borough of Brooklyn)

アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューヨーク市に置かれた行政上の5つの区の1つ。公式名称はキングス郡 (Kings County)。ロングアイランド最西部に位置しイーストリバー、ニューヨーク港、大西洋に囲まれクイーンズ区と接する。名称はオランダ人入植者が母国の地名を取り同地にブルーケレン (Breuckelen) という小さな町を築いたことに由来する。キングス郡はイギリス王のチャールズ2世にちなんでつけられた郡名。ちなみに、隣のクイーンズはこのチャールズ2世の後のキャサリン王后にちなんでつけられた。1898年に行われた区画整理までは、独立した市として存在していた。ブルックリンは5つの区の中で最も人口が多く、250万人の人々が居住している。ニューヨーク市の5つの区を独立した市として考えるならば、ブルックリンはロサンゼルス市、シカゴ市に続き全米で3番目に入りの多い市となる。またキングス郡はニューヨーク州で最も人口の多い郡であり、アメリカでニューヨーク郡（マンハッタン区）に次ぎ、2番目に高い人口密度を誇っている。マンハッタンへはブルックリン橋、マンハッタン橋、ウィリアムズバーグ橋、バッテリー・トンネルを始めニューヨーク市地下鉄でアクセスが可能。クイーンズへは地下鉄とニューヨーク市バス、ロングアイランド鉄道で、スタテンアイランドへはヴェラザノ・ナローズ・ブリッジを通り車・バスでアクセスできる。マンハッタンとは違った独特の文化の発信地としても名高い。ブルックリン出身者は Brooklynite (ブルックリナイト、ブルックリナイト) と呼ばれる。

## 4、ロングアイランド大学 ブルックリン校、<学生数約5000人>

(住所: 1 University Plaza, Brooklyn, NY 11201 U.S.A.)

1926年創立。ニューヨーク州ブルックリンの中心街に立地する私立の総合大学。大都会ニューヨークで異なる背景を持つ学生たちが互いに学び成長し、実社会に出て役立つような幅広い専門分野を提供している。「統合的な教育」をめざし、学生に専門分野の知識を与えるだけでなく、それを実際に生かすセミナーやインターンシップの機会を与えており、知識と実践との統合を図る。大学の規模は大きいが、授業は比較的少人数制を保っている。人気の専攻は保健学、ビジネス、ジャーナリズム、心理学、社会学など。キャンパス周辺は公共交通機関が発達しており、マンハッタンからも通学しやすい。学生の多くはキャンパス内の寮あるいはアパートに住む。



## 5、ブルックリン・サイクロンズ 球団

「ブルックリン・サイクロンズ」を知っていますか？

MLB ナショナルリーグ ニューヨーク・メッツ傘下のショートシーズン 1A に属するチームでニューヨークのブルックリン地区では大変人気のマイナーチーム。その昔ニューヨークには2つのMLB球団があり、1つはニューヨーク・ジャイアンツ。もう1つはブルックリン・ドジャース。この両チームは現在は西海岸に本拠地を移してそれぞれサンフランシスコ・ジャイアンツ、ロサンゼルス・ドジャースというチーム名となっている。2つの球団を失ったニューヨークはその後に新たにアメリカンリーグ所属のヤンキースとナショナルリーグ所属のメッツの2チームが誕生して現在に至る。メッツのチームカラーであるオレンジとブルーは「ジャイアンツ」のオレンジ色と「ドジャース」のドジャーブルーの色を併せた配色なんだそうな。ニューヨークにメジャー球団が2チーム誕生した後もドジャースの本拠地移転以降にブルックリン地区に野球が戻ってくることはなかった。ブルックリンの野球ファンはドジャースの本拠地移転に関しては大変残念で悲しく忌まわしい事でもあったようだ。かつてのブルックリン・ドジャースの本拠地「エベッツ・フィールド」の一部が今もブルックリン地区には残っているらしい。いつかは訪問してみたい場所の1つ。そんなブルックリンの野球ファンを人々興奮させる出来事が2001年に起こった。ブルックリン地区に数十年振りに新球団が誕生した。そのチームこそ「ブルックリン・サイクロンズ」。メジャーではなくショートシーズン 1A の「New York-Penn League」に所属し創設1年目には見事にリーグ優勝し、またマイナーであるにもかかわらず本拠地のキースパン・パークの観客席は連日満員御礼！ブルックリンの野球ファンは数十年ぶりに「ブルックリンの我がチーム」を応援する喜びを満喫しているとか。他にこのショートシーズン 1A

「New York-Penn League」にはヤンキース傘下の「スタッテンアイランド・ヤンキース」なども所属していて両チームの"マイナー"ニューヨーク対決があるだろうから想像するだけでなんとも面白そうだ。今シーズンのサイクロンズの開幕は現地時間6月19日で対戦相手は前述の「スタッテンアイランド・ヤンキース」！しかも3連戦！いきなり"マイナー"ニューヨーク対決が実現した。



## 6、ニューヨーク・メッツ

1962年のナショナルリーグの球団拡張で誕生した球団である。ニューヨーク・ヤンkeesと同じくニューヨークに本拠地を置いている。ちなみに「メッツ」とは1880年代に存在したニューヨーク・メトロポリタンズ（メトロポリタンとは都会人の意）というチームの愛称を元にしている。ヤンkeesとの対戦はサブウェイ・シリーズと呼ばれ、MLBで最も熱いカードの一つである。サブウェイとは地下鉄のことと、両チームの本拠地であるシティ・フィールドとヤンキー・スタジアムが地下鉄で結ばれ正在に由来する。しかし、常勝軍団といわれるヤンkeesに比べ、戦力、知名度共に劣っており、1969年、1986年と2度のワールドシリーズ制覇を成し遂げた時期を除いて、下位に沈むことが多い。近年は積極的な大型補強を行っており、2006年には18年ぶりの地区優勝を成し遂げるなど、長年続いた低迷期から脱しつつある。日本では知名度及びマスコミの報道頻度でヤンkeesに比べ地味な印象が否めないが、本拠地ニューヨークではヤンkeesに負けず劣らずの人気を誇っている。これまでに吉井理人、野茂英雄、新庄剛志、松井稼頭央など、多くの日本人選手が所属した。かつては前ロッテ監督のボビー・バレンタインが指揮を執り、現在は元オリックス・バファローズ監督のテリー・コリンズが指揮を執っている。現在は中心選手の多くをプエルトリコ、ベネズエラ、ドミニカ共和国といった中南米出身の選手が占めている。



## 7、ニューヨーク・ヤンkees

ワールドシリーズ制覇27回、出場40回を数えるMLB屈指の名門球団である。優勝回数は2位のセントルイス・カージナルスが11回、更に出場回数もロサンゼルス・ドジャースの18回と比べ、大きく引き離している。2012年に世界有数の経済誌『フォーブス』が公表したスポーツチームの資産価値では、ヤンkeesは18億5000万ドルと算出されており、MLBでは1位、世界のスポーツチームと比較してもマンチェスター・ユナイテッド、ダラス・カウボーイズ、レアル・マドリードに次ぐ4位である。規律が厳しい事でも知られており、長髪、無精ひげは厳禁である（整えられた口ひげは認められている。例：ランディ・ジョンソン、デービッド・ウェルズなど）。そのため、マニー・ラミレス（ロサンゼルス・ドジャース）が2005年シーズン中にトレードを志願した際にもヤンkeesは獲得に動かなかった。ジェイソン・ジアンビも2006年にレッドソックスから移籍したジョニー・デイモンもトレードマークだった長髪と髭を剃った。ベース・ルースから始まり、最近ではロジャー・クレメンスやジョニー・デイモンに至るまでボストン・レッドソックスとは選手を絡んだ因縁も深くライバル関係にあり、特に両チームのファン同士は犬猿の仲で知られる。その後、2003年に読売ジャイアンツから松井秀喜が移籍して再び話題になった。この年に読売ジャイアンツとの業務提携を結んでいる。読売ジャイアンツの前には日本ハムファイターズ（現・北海道日本ハムファイターズ）と業務提携をしていた。ヤンキー・スタジアムでの試合終了後はフランク・シナトラの「ニューヨーク・ニューヨーク」のコードが放送されるのが恒例である。球団歌は"Here Come the Yankees"（1967年）、作曲はボブ・バンディン及びルー・ストールマン。ただし球場で一番良くかかっている曲は前述の「ニューヨーク・ニューヨーク」である。



## 8、USC 大学（南カリフォルニア大学）

・1880年創設南カリフォルニア大学（University of Southern California、略称：USC）アメリカ西海岸最古の私立大学である。アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス。創立者は、ロバート・M・マクレイである。従兄弟のロバート・S・マクレイは青山学院の創立者の1人である・医学部などが入るHealth Sciences Campus (HSC)、情報工学系研究機関のUSC Information Science Institute (USC-ISI) 等からなる。ジョージ・ルーカス ジョン・カーペンターなどの著名な監督を輩出した全米最古のフィルムスクールである映画芸術学部もその歴史を飾る。



## 9、アーバンユースアカデミー（Urban Youth Academy）

1、MLB 30球団が出資して作った「野球施設」（2006年設立）

2、7歳～17歳までの少年（硬式野球）・

少女（ソフトボール）が活動できる場所。

3、全米で犯罪件数が一番多い地区に敢えて創設。

4、地域の子供たちの非行化を野球に取り組むことで  
防止する。また、学校に進学できるよう手伝う。



## 10、京セラ米国法人

・京セラ、2010年米国で太陽電池モジュール生産開始

生産拠点 KYOCERA America, Inc.

所在地 8611 Balboa Avenue,  
San Diego, CA 92123-1580 U.S.A.

稼動開始日 2010年6月1日（現地時間）

生産品目 多結晶シリコン型太陽電池モジュール  
・60直大型太陽電池モジュール  
(235W／枚)  
・54直大型太陽電池モジュール  
(210W／枚) など



KYOCERA America, Inc. 外観

生産規模 稼動開始当初は年産30MW 規模

## 11、オーシャンサイド市 (Oceanside City)

今回のホームスティの中心となるカリフォルニア州サンディエゴ郡オーシャンサイド市。当地の歴史を紐解くと、この地域に当初住んでいたのはインディアンだったが、1769年に最初のヨーロッパ人探検家が到着した。フニペロ・セラ牧師の指導するスペイン人宣教師団が、サンルイス・レイ川の岸の元はルイセノ族インディアンの集落があった地にサンルイス・レイ・デ・フランシア宣教所を設立した。

1800年代初期、農業や牧畜業が導入されて地域の景観が変わった。この地域はカリフォルニア州全体と同様に、まずスペイン、続いて1821年からメキシコの支配下にあり、1858年からアメリカ合衆国の統治下に入った。

## 12、サンディエゴ市

サンディエゴ（英語：San Diego）は、アメリカ合衆国カリフォルニア州にある都市。アメリカ西海岸有数の世界都市であり、州内ではロサンゼルスに次いで人口が多い。

1542年、ポルトガル生まれのスペインの探検家のファン・ロドリゲス・カブリージョ等がスペイン船でロマ岬（Point Loma）に到着し、この地を「サン・ミゲル（San Miguel）」と名づけた。ヨーロッパ人として初めてサンディエゴに足を踏み入れたとされている。1602年、植民地開拓に来たスペイン人のセbastián・ビスカイノ（Sebastián Vizcaíno）は、同年11月12日の「サン・ディエゴ・デ・アルカラ」の祭りの日に「サン・ミゲル」から「サン・ディエゴ」に町の名前を変更した。これ以来この都市の名前となった。

## 13、サンディエゴ・パドレス

パドレ（Padre）とはスペイン語で神父を意味する言葉で、サンディエゴの開拓者であるスペイン人のフニペロ・セラ神父に因んでいる。同名のマイナーチームがかつて存在し、サンディエゴ生まれの大打者テッド・ウィリアムズもここで力をつけた。チームにはフライアーズ（修道士）という別名もついている。マスコットは修道士の姿をした「スウィンギング・フライア」（Swinging Friar）。MLBでも数少ない人間の姿をしたマスコットである。



## 14、ロサンゼルス市

ロサンゼルスはロサンゼルス郡内にある。同郡には他にビバリーヒルズ、サンタモニカ、ロングビーチなどが含まれる。郡の面積は12,308km<sup>2</sup>で、人口は約976万人。市内にはハリウッドやザ・バレーなどがある。古くから労働力としてのアジア系移民を受け入れてきており、ダウンタウン近辺に第二次世界大戦前からあった日本人街であるリトルトーキョーやチャイナタウンのほか、戦後の韓国系移民の急増を受けて広がってきたコリアタウンなどいくつかのアジア系タウンがある。

## 15、ロサンゼルス・ドジャース

長年オーナーを務めたのは、ウォルター・オマリー、ピーター・オマリーらオマリー一族。創設は1884年。1947年にアフリカ系アメリカ人として初のメジャーリーガーであるジャッキー・ロビンソンがデビュー、1995年には史上2番目の日本人メジャーリーガーである野茂英雄がデビューした球団。創設以来、ニューヨーク（ブルックリン区）を本拠地としていたが、1958年に現在のロサンゼルスに本拠地を移した。チーム名の由来は、ニューヨークのブルックリン地区に本拠地を置いていた時代に、路面電車が極めて多かったブルックリンの住人の呼び名「路面電車をよける (dodge) 人たち」を表す「トロリー・ドジャース」から名付けられたといわれている。



## 16、アイク生原

■生原昭宏（いくはら あきひろ）1937年生まれ

■1959年

早稲田大学法学部卒、野球部では新人監督

卒業後、社会人野球を経て、亞細亞大学野球部監督

■1965年

渡米 ロサンゼルス・ドジャース職員になる。

大リーグの野球を学び、オマリー会長の国際担当秘書になり、

その後、オーナー補佐国際担当に就任する。

オマリー家とは家族同様の付き合いをする。

日米野球の親善大使、野球の国際化に尽力。

■1993年10月 55歳 ガンで亡くなる。オマリー家の墓の隣に眠る。

■2002年1月 野球殿堂入り。

■2002年7月 オールスター戦 東京ドームで喜美子夫人表彰。



## 17、ピーター・オマリー

■1937年生まれ

■1960年 ペンシルベニア大学 ワートンスクール経営学科卒

■1962年 ドジャータウンの責任者として、ドジャースでのキャリアが始まる

■1967年 スタジアムオペレーション担当副社長として、ロサンゼルスでの球団経営に本格的に関与する

■1969年 上級副社長に就任する。

■1970年 社長に就任する(1995年野茂投手入団時のオーナー)

■1997年 球団の売却を表明し、FOX社と大筋合意に至る。



## スタッフ紹介



### 近藤 由紀子 (こんどう ゆきこ)

- ・コンコルディア プロデューサー（株）コンコルディア代表
- ・石川県七尾市出身
- ・早稲田大学第一文学部英文学科卒業
- ・卒業後岩波ホール入社、ホールの企画運営に携わる。  
退社後、二児の母親となり、専業主婦の傍らプロットライター等  
様々な仕事を体験。
- ・49歳でアーティストプロデューサーとして再スタート。

### 【サンディエゴ担当】



### Chase 山内 (本名・山内周司)

- ・サンディエゴ在住
- ・大阪府大阪市出身
- ・(株)YSPI 勤務 Y.E.S.ESL International, Inc
- ・空手二段
- ・サンディエゴ、ホストファミリーの確保や京セラ、  
オーシャンサイド市庁舎、パドレス球団、  
National University など各訪問先でのプレゼンをコーデネート。
- ・熱血漢でありスタッフ思いの優しさを持つ人柄。

### 【ロス担当】



### 友永順平 (ともなが じゅんぺい)

- ・福岡県 筑紫丘高校卒
- ・早稲田大学 教育学部体育専攻課程 1990年卒
- ・野球部では小宮山悟氏と同期
- ・USCには3年時から編入
- ・故アイク生原さんに師事、ピーター・オマリー氏の信頼も厚い。
- ・高校選抜チームや全日本大学チームの渡米や米国チームの来日における  
コーディネートをボランティアで務めている。  
現在の野球の国際化に多大な貢献。
- ・(株) カーメイトの米国法人に勤務

## 【ニューヨーク担当】



### 鈴木 陽平 (すずき ようへい)

- ・埼玉県所沢市出身
- ・ニューヨーク在住
- ・趣味：マラソン、ウェイトトレーニング、プロレス観戦

所沢出身で地元球団である西武ライオンズを毎日応援して育つ。小学校時代は、地元の少年野球チームに入り、プロ野球をテレビや西武球場に行って観戦することに没頭していた。またプロ野球観戦と同じくらい熱中していたプロレスに影響され、中学よりずっと柔道をする（柔道式段）、日頃、ジムに行ってトレーニングをし、マラソンをするのが大好きで、今年の11月には60キロのウルトラマラソンに挑戦。また、メジャーリーグの試合や格闘技を見るのが大好き。スポーツを通して、人種を超えてたくさんの友達を世界中に作っていけることにいつも喜びを感じている

ニューヨークでは、地元のエスニックコミュニティや国連等と国際交流事業や様々なスポーツ文化芸術事業、教育事業を企画プロデュース。これまでに国連関連団体との協力により、世界平和式典、コンサート、日米桜寄贈100周年記念桜祭り事業（ニューヨーク、ワシントンDC）等といった様々なプログラムを行い、また地域の経済観光開発の事業にも取り組んでいる。

## 【撮影・記録担当】



### 谷澤 一貴 (やざわ かずたか)

- ・横浜市在住
- ・名古屋出身
- ・デザイナー※デザイン全般 (web,DTP, 映像制作, Logo など)
- ・中学から 25歳までラグビー
- ・谷沢野球コミュニティ柏副部長 <http://www.ybc2005.jp/>

# 旅のメモ帳



# おうちでイオンイオンネットスーパー おうちで注文 おうちへお届け!



日々の  
食材も



雨でも  
お届け



ネット  
WAON  
ポイント

たまる  
使える

イオンネットスーパーなら  
こんなときに便利です！



重くてかさばるケース飲料  
や冷た~いアイスも、ご自宅  
までお届けいたします。



体調が悪い・・・  
そんなとき、医薬品も  
最短でその日のうちに  
お届けいたします！

※一部お取扱いのない店舗がございます。



雨で外出が面倒なときも、  
おうちでラクラクご注文。



暑い日のお買い物は大変！  
そんなときも、ご注文いた  
だいた商品をご自宅まで  
お届けいたします。



パソコン  
スマートフォン  
からラクラク  
お買い物

メンバー登録・配送エリアの  
ご確認はこちから▶▶▶ [おうちでイオン](https://www.aeonnetshop.com/) 検索

配送料金はお買上げ金額及びエリアにより異なります。詳しくは各店舗トップページをご確認ください。

イオンネットスーパーは、1回のお買上げ金額の合計が700円(税込)以上(送料・ポイント・手数料除く)からご利用頂けます。

※悪天候、交通事情、その他やむを得ない理由が生じた場合、商品の配送時間が遅延することがございます。また、指定のお届け時間帯にご注文が集中した場合、ご希望のお届け時間帯を選択頂けない場合がございます。

※店休業日は配達いたしません。ご了承ください。※店舗によりご注文締め切り時間・配送時間が異なります。

※品切れ、サービス内容は予告無く変更となる場合がございます。最新の情報はホームページにてご確認ください。※掲載情報は2014年7月現在のものです。

ネットWAONポイントでお得に！  
お支払いに使える！お店でも使える！

## ネットWAONポイントとは

ネットWAONポイントはイオンスクエア内のネットショッピングサイトでお買いものをすると貯まるポイント！ネットのお買いものや、WAONポイントと交換ができます。



ネットショッピングでお買いもの



ネット  
WAON  
ポイント

ポイントが貯まる

※お買い上げ額 200円(税込)ごとにネットWAONポイントが貯まります。

## ネットWAONポイントをお買い物に使う。



ネットショッピングで  
貯まったポイントが使える



WAON  
ポイント

WAONポイントと  
交換できる

イオンスクエア内のネットショッピングサイトで、1回のお買い物(ご注文)につき100ポイント以上、1ネットWAONポイント=1円相当としてお支払いにご利用いただけます。また、お買い物で貯まったネットWAONポイントはWAONポイントへ交換ができます。

1 ネット  
WAON  
ポイント = 1円

